



2023年7月21日
東日本旅客鉄道株式会社

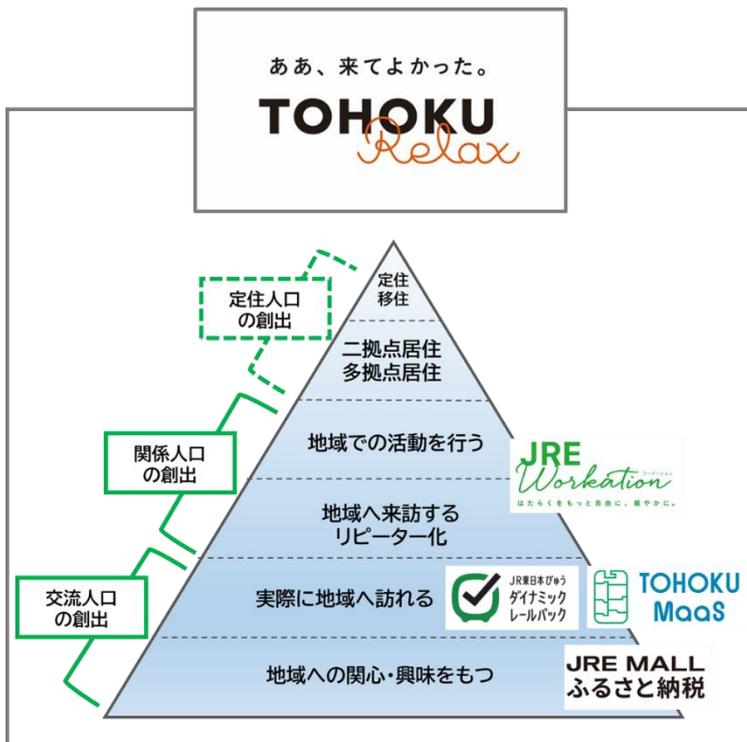
「東北の宝ものプロジェクト」始動！ ～地域の皆さまとともに、東北の未来づくりに取り組みます～

- JR 東日本グループはグループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げる「地方を豊かに」の実現に向け、JR 東日本グループの資源を幅広く活用し、東北に訪れるきっかけづくり・産業づくり・くらしづくりを通じて、新たな地方創生を目指します。
- 地域の皆さまとともに東北の未来づくりに取り組むため、このたび「東北の宝ものプロジェクト」を始動します。
- 新たなブランド『TOHOKU Relax』を掲げ、そのスタートとしてこのブランドを冠して東北に数多くある「宝もの」の情報発信を行い、国内外からの流動を促進します。

1 新たな共創地域づくり「東北の宝ものプロジェクト」のコンセプト

東北にはまだまだ知られていない資源＝「宝もの」が多くあります。「東北の宝もの」を地域の皆さまとともに探し、磨き、つくりあげ、多くのお客さまに知ってもらい、来てもらい、そして東北を好きになってもらうために、JR 東日本グループはさまざまな資源を活用して、長期的に交流人口・関係人口の創出に挑戦していきます。

【新たな共創地域づくりイメージ】



【ロゴ】

あぁ、来てよかった。

TOHOKU
Relax

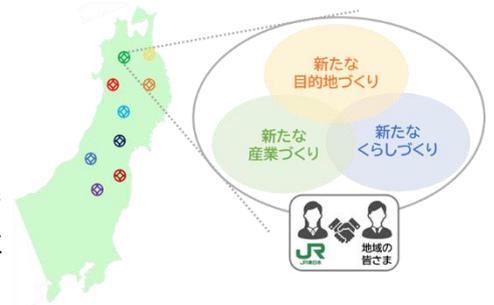
【メッセージ】

どうして自然を前にすると、深呼吸するんだろう。
どうしてきれいな水の音に、落ち着くんだろう。
どうして日々のなかでそれを、忘れてしまうんだろう。
東北には私たちの心が欲しがっているものがたくさんある。
そういうものと出会うとき、私たちはこうつぶやいている。
「あぁ、来てよかった」。
それは、何かが整ったサインかもしれない。
そういう東北の宝ものを、
日本の宝ものにしていきたい。
東北のみなさんといっしょに。

2 「東北の宝ものプロジェクト」の立ち上げについて

「東北の宝もの」を地域の皆さまとともに探して、それを磨き、作りあげ、多くのお客さまに知ってもらい、来てもらい、そして東北を好きになってもらう。「ああ、来てよかった」。そんな東北の宝ものが日本の宝ものになるための取り組みを推進します。

具体的には地域の皆さまと連携して、戦略的にそのエリアの新たな目的地づくり・産業づくり・くらしづくりを行い、モデルエリアとなる共創地域づくりを目指します。モデルエリアの選定にあたっては、「東北の宝ものプロジェクト」のコンセプトを共有していただける地域を募りながら、地域の皆さまとそれぞれの役割を分担して進めていきます。なお、モデルエリアについてはさまざまな資源を切り口にして順次拡大し、一過性ではない息の長い取り組みとしていきます。



■これまでの取り組み事例

JR 東日本グループではこれまでも共創地域づくりに取り組んできました。これまで培った経験を糧に、今後は「東北の宝ものプロジェクト」により一層充実した地域づくりに取り組んでいきます。

新たな目的地づくり × 新たな産業づくり × 新たなくらしづくり

青森での事例



「青森駅東口駅ビル(予定)」
魅力あるまちづくり



地域連携ICカード「AOPASS」
キャッシュレス生活の提供

**「A-FACTORY」
産業の創出**




「BRICK A-FACTORY」
地域産業の活性化

弘前での事例



「津軽ラウンジ」
駅の観光拠点化



地域連携ICカード「MegoICa」
キャッシュレス生活の提供

※「AOPASS」は青森市の登録商標です。

※「MegoICa」は弘南バス株式会社の登録商標です。

いわきでの事例



「ホテル B4T いわき」
交通サービスとのスムーズな連携



「エスパル いわき」
駅での販わり創出



「JRとまtrandいわきファーム」
産業の創出



「JRE MALL ふるさと納税」
地域の魅力提案

- ・青森・弘前では地産のりんごを活用したシードル工場を展開し、地域産業の活性化を促進
- ・地域連携 IC カードにてキャッシュレス化を推進
- ・いわき駅では B4T による労働力不足解消を目指したホテルを運営し、地域に根差した地産物販売を行う駅ビルも開業
- ・JR とまtrandいわきファームでは新たな産業の創出と JRE MALL ふるさと納税による返礼品ツアーも実施

3 『TOHOKU Relax』の情報発信について

東北の魅力ある「宝もの」を、お客さまが東北に興味を持つきっかけになるよう JR 東日本グループの駅や列車などのリアル媒体や各種 SNS などのデジタル媒体で発信します。また、国内外から見た東北の良さをカタチにすることで、地域の皆さまに対しても東北の魅力を再認識いただけるようにします。

■各種 SNS の開設

①『TOHOKU Relax』公式 Instagram（7月21日開設）

まるで写真集のような東北の大自然のビジュアルとともに、東北に旅行する際のお役立ち情報を発信し、東北のさまざまなスポット情報を蓄積していきます。

公式 Instagram アカウント：[tohokurelax_official](https://www.instagram.com/tohokurelax_official)

（イメージ）



②『TOHOKU Relax』公式 Twitter

地域に密着した地元の生の声をその土地の空気の匂いまで伝わるように発信することで、東北への愛着をもってもらえるような地域密着型アカウントを目指します。なお、公式 Twitter の開設は、8 月以降を予定しております。

③海外に向けた SNS による情報発信（13 の国と地域・7 言語予定）

JR 東日本が所有する海外向けの SNS（Facebook 等）にて情報を発信します。また、「JAPAN RAIL CLUB」と連携し、リアルとデジタルを掛け合わせた旅マエ・旅ナカ・旅アトでのインバウンドのお客さまとコミュニケーションを図ります。

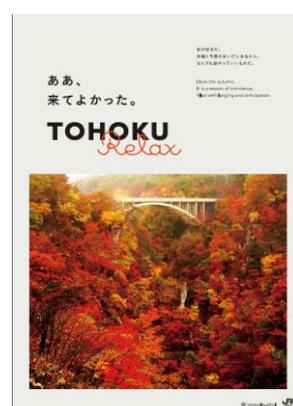
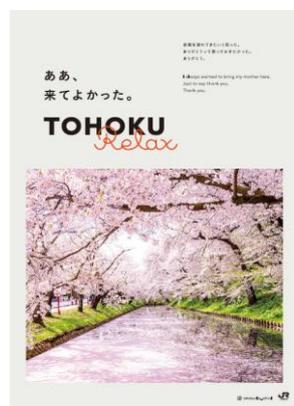
※「JAPAN RAIL CLUB」は、旅アト・旅マエでも日本との“つながり”を求める海外の日本ファン層のお客さまを対象とした、ヒト・モノ・コトを通じたコミュニケーションのプラットフォームです。

https://www.jreast.co.jp/press/2022/20221108_ho02.pdf

そのほか、JR 東日本の主な駅やデジタルサイネージでの東北 6 県の美しいポスターの掲出や東北七新聞社協議会と連携したメッセージ発信をします。

※本プレス内に使用している画像はイメージです。

【参考】『TOHOKU Relax』のポスターについて



※各県の掲載スポットは、WEB サイト (<https://tohoku-relax.jp>) でご確認いただけます。